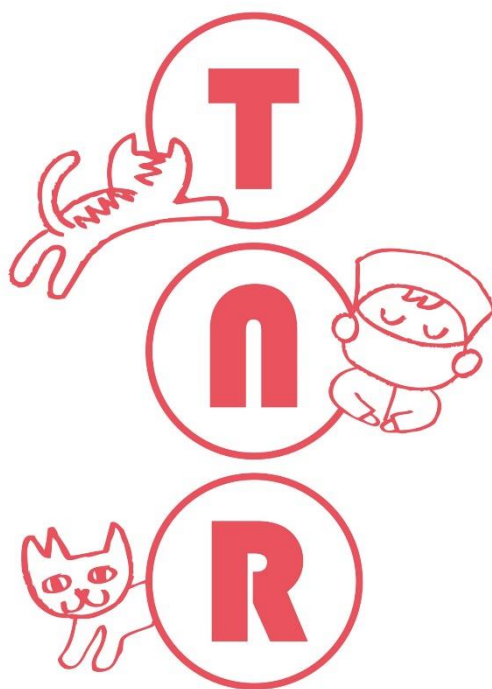


新潟東港さくらねこTNRプロジェクト 実施報告書



doubutukikin since 1988

主 催：公益財団法人どうぶつ基金

**申請者：特定非営利活動法人 ハッピーフィッシング
動物愛護団体あにまるガード**

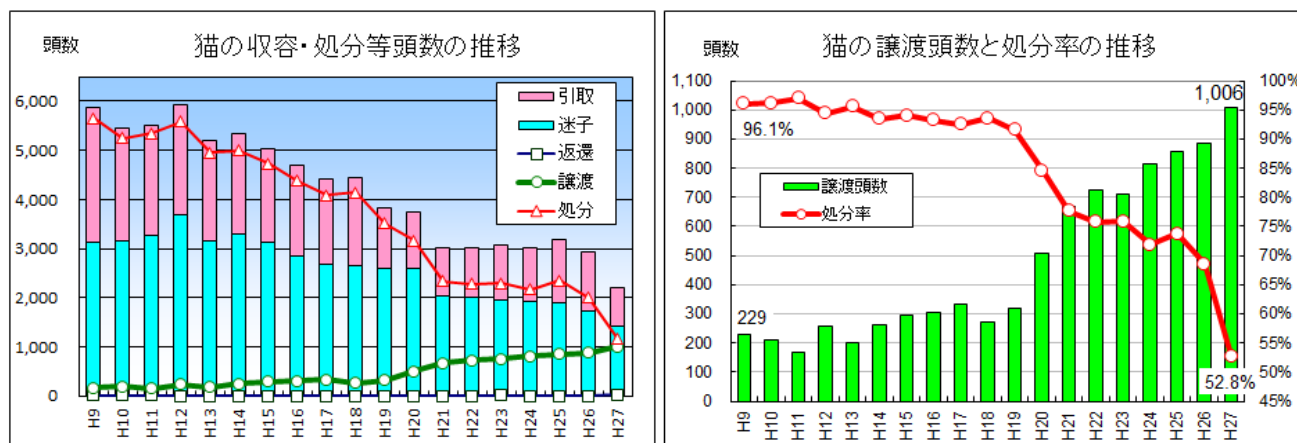
協 力：一般社団法人動物救護隊にゃんだーガード

期 間：平成28年11月24～25日（手術日）

新潟県の現状

平成24年4月、県央・中越・魚沼の3つの動物保護管理センターを統合し、新潟県動物愛護センターが開所。開所当初は保健所と違い殺処分されることがないと考えた相談者が非常に多く、収容数は統合前に比べ増加したが、26年度から減少の傾向に。行政から繁殖制限やしつけの大切さを飼い主に伝達する機会も増え、27年度には前年度より収容数が731頭減少した。正しい飼い方・終生飼養の意識が向上した結果ではないかと思われる。また、全県的にも20年度から猫の譲渡を増やす取組に力を入れ、27年度の譲渡頭数は前年度より100頭以上増加している。

しかしながら猫の致死処分は未だ1,000頭を超え、収容した猫の半数を処分しているのが現状。センターとしては飼い主が最後まで責任を持って飼うよう、更なる普及啓発に努めている。



新潟東港地区

日本海側を代表する臨海工業地帯で、北東アジア諸国への玄関口である新潟港。新潟港は西港区・東港区の2つに分かれており、それぞれの通称が新潟西港・新潟東港である。新潟東港は東北電力東新潟火力発電所に隣接する巨大な工業港。現在、第二東防波堤は有料の海釣り施設として開放されている。

対象場所の状況（申請時）

対象場所は新潟東港でNPO法人ハッピーフィッシングが県の指定を受け管理している釣り場であるが、その入り口付近に以前から捨て猫が多く、釣り人が魚を与えるなどする為、今年に入り急激に猫の数が増加した。

捨て猫・他から流入した猫ももちろんいるが、増加の主な原因は繁殖した結果の子猫であることから、放置すれば今後も増加が加速的に進むことが予想されるため、TNRを行うこととした。（申請書より抜粋）



●新潟東港第2東防波堤釣り場開放会場

防波堤を安全設備の設置及び安全管理運営のもと、釣り場として開放している港湾施設



●出張手術実施前の猫の様子

釣り人に餌をもらい、広々と暮らしている猫たち。冷たい北風が強く吹き付ける場所である為、風邪がひどい猫もいた。

11月22日（火）	
8:00～22:00	捕獲
11月23日（水）	
8:00～22:00	捕獲
11月24日（木）	
9 : 00	朝礼
9 : 10	手術開始
12 : 00	昼休憩
13 : 00	手術再開
15 : 30	手術終了
16 : 30	撤収完了・終礼
夜間	捕獲

11月25日（金）	
9 : 00	朝礼
9 : 10	手術開始
12 : 00	昼休憩・捕獲
13 : 00	手術再開
14 : 30	手術終了
15 : 30	撤収完了・終礼
11月26日（土）	
9 : 00	リリース 会場片づけ 捕獲器洗浄消毒
15 : 00	終了

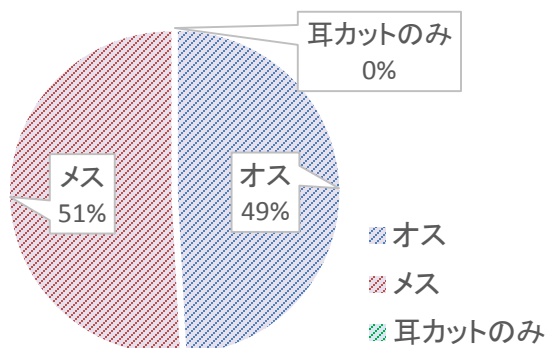
協働人数

日 程	どうぶつ基金	あにまる ガード	にゃんだー ガード	ボラン ティア	合計
11月22日	0名	1名	1名	6名	8名
11月23日	0名	1名	1名	6名	8名
11月24日	スタッフ 2名 獣医師 3名	1名	1名	7名	14名
11月25日	スタッフ 2名 獣医師 3名	1名	1名	7名	14名
11月26日	0名	1名	1名	1名	3名

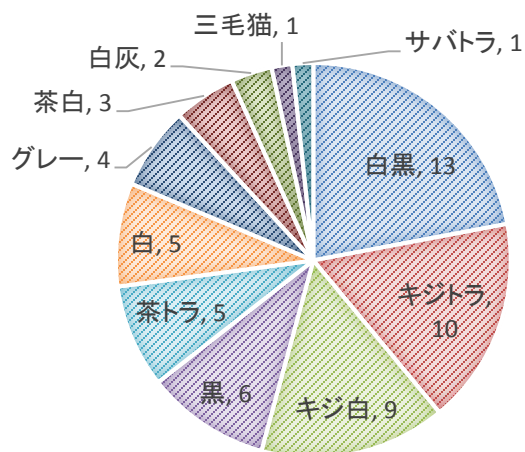
手術数

	オス	メス	耳カットのみ	計
11月24日	7	13	0	20
11月25日	22	17	0	39
計	29	30	0	59

オスメス割合



毛色割合



処置内容

不妊去勢手術、ノミ・ダニ・回虫の駆除薬（レボリューション）、ワクチン、点眼、補液 50cc

捕獲器・ケージ使用台数

所持者	あにまるガード	にゃんだーガード	ボランティア	どうぶつ基金
捕獲器	10台	18台	10台	0台
ケージ	0台	0台	0台	30台
猫ハウス ※注1	0台	18台	0台	0台

注1 猫ハウスとは港に設置した発泡スチロールで作成した箱



● 山口獣医師（執刀医）



● 足立獣医師（執刀医）



● 上杉獣医師（執刀医ボランティア参加）

新潟県動物愛護センターの獣医師



手術会場の様子

doubutukikin



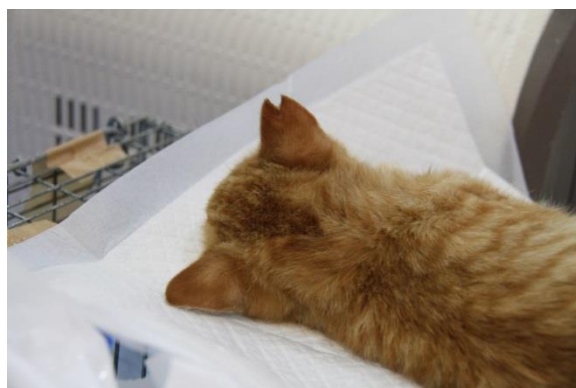
●手術待ちの猫たち



●管理タグがついた猫を手術会場に搬入



●安定剤、麻酔、抗生剤、ワクチンを注射



●手術前に、お腹の毛刈りや耳カットを行う

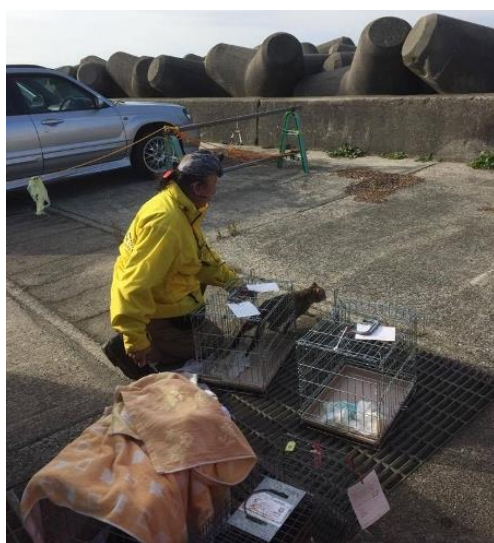


●不妊去勢手術中



●佐上理事長 手術の記録管理中

Sakura Neko
TNR



東港地区は冷たい北風が強く吹き付ける場所である為、術後で猫たちの体力が低下していることを考え暖かい猫ハウスを設置した。子猫・中猫29匹は里親探しの為にまるガードで19匹、にゃんだーガードで10匹を保護。地元ボランティアの観察によると、リターンした猫たちの健康状態はおおむね良好である。



新潟東港さくらねこTNRプロジェクトの出張手術は、特定非営利活動法人ハッピーフィッシング、動物保護団体あにまるガード、一般社団法人動物救護隊にゃんだーガードの協力のもと無事終了した。今回のTNRを実施するにあたり、地元である聖籠町に対し、東港に猫が捨てられ繁殖している現状を町会議員のご協力により報告する事ができた。現在は民間のボランティアが見守り、ようやく一斉TNRを実施できた段階である。今後は民間からだけでなく行政からもなんらかの対策が採られることを期待しつつ、これ以上不幸な命が増えないよう猫たちの健康状態に注視しつつ、見守りたい。(報告書より抜粋)



公益財団法人どうぶつ基金
特定非営利活動法人ハッピーフィッシング
動物愛護団体あにまるガード
一般社団法人動物救護隊にゃんだーガード